



北海道 別海町

●北海道別海町

ヒートポンプシステムを導入、環境にやさしい病院を目指す

【贈呈理由】 冬期における外気処理に高効率なヒートポンプによる蓄熱システムを導入し、さらにピーク電力を削減



町立別海病院

町立別海病院は、1947年に日本赤十字社の「西別診療所」として開設以来、60年以上の永きにわたって地域医療の一翼を担ってきた。新設された新町立別海病院(2012年10月開院)の建設にあたっては、公立病院として町民・患者の人権と生命の尊厳を維持しつつ、地域ニーズに対応した医療(予防医療～終末期医療)を提供することのできる病院づくりを目指した。

新病院の理念である『地域の病院として、心のこもった医療で、住民の皆さま

の健康を支援します』を実現するため、「患者・家族の視点に立った病院」「安全で安心な災害に強い病院」「環境に優しい病院」の3つを展開している。「環境に優しい病院」としては、省エネルギー・省資源化に努めるため、環境負荷軽減や地球温暖化防止に効果のあるヒートポンプ機器を建物全体の空調と給湯に導入した。

空調システムは電動ヒートポンプ(個別分散)方式とし、冬期の外気処理加熱には空気熱源ヒートポンプチャラーによる蓄熱

システムを導入した。蓄熱システムは、冬期のピーク電力が発生する時間帯(16～18時)は運転を停止し、電力負荷の平準化およびピーク電力削減に寄与している。

新町立別海病院は基本理念にしたがい、今後とも、安心して信頼のおける質の高い医療を提供していく。

町立別海病院

所在地:北海道野付郡別海町別海西本町103-9
 建築設計:㈱創建社
 建築施工:島影・丸彦渡辺・近藤特定建設工事共同企業体
 蓄熱設備設計:㈱創建社
 蓄熱設備施工:高橋・太平洋・協和特定建設工事共同企業体
 延床面積:6,384㎡
 竣工:2011年(新設)

●蓄熱設備概要

水蓄熱式空調システム 熱源機:空気熱源ヒートポンプチャラー 538kW×1台・449kW×1台(東芝キャリア)蓄熱槽:156㎡(温水槽)
 顕熱蓄熱式電気床暖房 96kW(敷設面積)1,002㎡(三菱電線工業)
 業務用エコキュート 40kW×6台(昭和鉄工)
 貯湯槽:12㎡
 電気温水器 20ℓ×4台(日本イトミック)